

I 患者にとって最適な医療の提供

2. 患者が満足する医療サービスの提供

法人本部	総合医療センター	西和医療センター	総合リハビリテーションセンター
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H25年度患者満足度調査結果の詳細分析、調査項目検討、調査・集計分析</li> <li>・ H26年度患者満足度調査の実施(11月頃) 患者満足度向上のための対策検討 (次年度の年度計画・予算検討)</li> <li>・ 臨床指標(クリニカルインディケーター)の検討、公表 会議の設定 指標の統一 3センター独自の指標設定 データ取得方法の検討 公表(10月予定)</li> <li>・ 海外医療機関との連携調整 外国人受け入れ認証病院の訪問 海外医療機関への訪問を検討</li> <li>・ 3病院部門別会議 (患者サービス推進会議等) 課題の抽出と対応の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者支援センターの充実</li> <li>・ 総合案内にコンシェルジュを置き、案内機能を充実</li> <li>・ 患者意見を集約し、患者ニーズの把握と分析を行い、計画的に患者サービスを向上</li> <li>・ 患者の意見に対する報告書の作成、迅速な対応</li> <li>・ 随時の献立見直しと、患者等への食事説明等の充実</li> <li>・ 検査精度の向上</li> <li>・ 検査の受付、報告時間の短縮</li> <li>・ 患者アメニティ(快適な療養環境)の配慮と、やすらぎの提供</li> <li>・ ロビーコンサートの開催 年5回</li> <li>・ 分かりやすい案内サインの整備</li> <li>・ インフォームドコンセントの徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者支援センターの充実</li> <li>・ 総合案内にコンシェルジュを置き、案内機能を充実</li> <li>・ 患者意見を集約、改善策を検討し、センターとしての回答を提示</li> <li>・ エントランス周辺の改修</li> <li>・ 分かりやすい案内サインの整備</li> <li>・ 快適な院内環境等の整備 施設・設備の改善計画を策定し、計画的な改善に努めるとともに人的な整備についても、計画的に雇用</li> <li>・ 経営指標に関しワーキンググループを設置</li> <li>・ クリニカルパスの整備・運用 パス委員会を開催し、定期的なパス見直しと充実</li> <li>・ 入院時治療計画の説明を徹底</li> <li>・ 地域医療連携室機能を早期に強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者支援センターの充実</li> <li>・ 総合案内にコンシェルジュを置き、案内機能を充実</li> <li>・ 患者の視点に立った医療の提供 患者意見を集約し、積極的に対応 接遇研修等の実施によりコミュニケーションスキルを向上</li> <li>・ エントランス周辺の改修</li> <li>・ 分かりやすい案内サインの整備</li> <li>・ 県民への病院・医療情報提供の充実</li> <li>・ インフォームドコンセントの徹底</li> <li>・ 入院診療計画書、リハビリ総合実施計画書 患者への説明と実施評価入院カンファレンスの開催</li> <li>・ 病院機能評価の認証取得へ向けた準備</li> <li>・ 「病院機能評価受審準備委員会」の設置</li> </ul>
<p>医療専門職教育研修センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クリニカルパスの点検や、新たなパスの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院機能評価の認証取得へ向けた準備委員会 又はワーキンググループを設置し、 タイムスケジュールを管理しつつハード・ソフト面を改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 快適な院内環境等の整備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接遇・リスクマネジメント・コミュニケーション等の研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NST(栄養サポートチーム)やキドニーサポートチーム(腎臓病サポートチーム)の活動の充実</li> <li>・ 病院機能評価の認証取得へ向けた準備委員会及びプロジェクトチームにより、受審方針、体制及びスケジュール等について検討、準備</li> <li>・ 患者に常に最新の治療を提供するため、新しい医療技術へ対応</li> </ul>		